

コース No. E 苗穂の昔散策コース〈苗穂地区〉

約2.7km
約4,500歩
約35分

札幌初の
塵芥焼却場

歴史の
散歩道

札幌市の人口が9,000人を超えた明治5年(1872年)開拓使はごみの不法投棄について、初めて市民に注意を呼び掛け翌年、ごみ捨て場を7カ所開設しました。そして明治18年(1885年)ごみ運搬に行政も参加し、毎日市内をめぐってごみ収集を開始し、明治35年(1901年)に公設では初めての「ごみ焼却がま」を豊平川河畔に造りました。昭和5年(1930年)に法律でごみの焼却が義務づけられたことから、焼却工場の建設計画が進められ、昭和10年(1935年)札幌市塵芥焼却場が北1条東14丁目に完成しました。この焼却場は1日の焼却能力が56トンと、当時としては最新の施設でした。



苗穂まちづくりセンター
苗穂地区会館
苗穂はるにれ児童会館
TEL:261-3669



苗穂駅

石造りのレストラン



北海道母子福祉センター

昔、初代の北大総長の佐藤昌介男爵の居宅があったところで、その当時からある立派な赤松が今も残っています。

なえぼさくら公園

公園内や道路沿いの桜は必見。春の桜のシーズンはおすすめ。



消費カロリー

約115kcal



肉まん 1/2個

- イチヨウ
- ニセアカシア
- サクラ
- プラタナス、ハルニレなど

古くから住宅や工場があった地域。ちょっと懐かしさに浸るコースです。

